

各地保育
會の活動

大分縣保育會の沿革及事業の概要

大分縣保育會幹事 天 門 成 章

一、大分縣下幼稚園打合せ會（大分縣保育會の前身）

高田町私立成蹊幼稚園長難波十州氏は明治四十二年開園以來熱心に經營せしに、當時縣下十三園の連絡提携及共同研究の機關なきを最も遺憾とし、時恰も大正の初期、縣下に於ける鐵道の開通も相當の範圍に互り尙大正の大典を迎へるこゝなりしかば、縣當局を初め各關係者を一々訪問し、地方保育事業の進展に關して諮り、更に大正大典の記念事業として單獨に該園に於て大正三年六月十三、十四の兩日大分縣下幼稚園打合せ會を開催せり。出席會員多數にして斯る會合は縣下に於ける嚆矢なりしかば關係者一同得る所多く、發起人難波十州氏に對して厚く感謝し、爾來毎年一回會合するこゝを申合せ大分枋築別府中津の各園順次開催し保育上の研究打合せをなし、その記録を各園に配布し保育の研究資料とせり。

二、大分縣保育會

大正の中期、世界大戰の影響によりて我國の保育事業も

著しく發展せり。從て大分縣下の斯業も漸次その數を増加して大正八年園數一五會員五五となれり。依て前記の打合せ會を大正九年一月大分縣保育會と改稱し、本會は縣下各幼稚園相互の氣脈を通じて保育上の研究をなし、兼て會員の親睦を計るを以て目的とせり。爾來左記の事業を行ひ以て本會の向上を計畫せり。殊に本會主催の下に大正十年五月三、四日第三回全國幼稚園關係者大會を大分市に於て開催のこゝろ全國は勿論臺灣、朝鮮より出席、頗る盛大にして、之を契機として本會の基礎も強固となり爾來縣當局も熱心に指導鞭撻せられて今日に至る。目下園數、公立二〇、私立一四、計三十四。

三、本會の事業

A、毎年度舉行の定期事業

イ、總會（各園に順次交替に開催し全會員出席す）

ロ、夏期講習會

ハ、保育研究會

ニ、全國コドモ愛護デー

ホ、園長會

B、本會の過去に行ひし特殊なる事業

イ、大正十年五月第三回全國幼稚園關係者大會

ロ、大正十五年五月我が國幼稚園開設五十年記念式

ハ、昭和九年六月本會創立二十週年記念式

ニ、昭和十二年五月中國、四國、九州保育聯盟總會

ホ、宇佐神宮に於ける皇軍武運長久祈願

ヘ、本會員の出征家族慰問

ト、昭和十五年六月本會創立二十五週年記念式

四、本會の役員

會長 大分縣學務部長 南 益次郎

副會長 大分幼稚園長 永野 道男

幹事 成蹊幼稚園長 天門 成章

” 南大分幼稚園長 高崎 吉人

” 中津南部幼稚園長 豊岡 道義

” 別府南幼稚園長 生野 明造

五、最近の本會の狀況

イ、保姆の研究會

縣内の幼兒保育の改善と進展を計り且保姆の素質向上のため縣内を五區に分ち保姆は一ヶ年數回集合して研究會を開催せり

ロ、保育調査會

國民學校令實施に伴ひ保育上如何に考慮すべきか重大なる問題に就き研究調査のため特に調査委員を設け検討をなし十一月下旬綜合研究會を開催す

今や世界狀勢は我が國に對し日々に急迫を加へるも大東亞を建設するの秋次代の國民養成の任に當る者の責任重大なるを痛感するに共且保育の道に精進して皇恩に報ひ奉らんを期し會員一同互に提携して奮勵努力す

お詫び

御期待をいただきました講習號もいよ／＼今月を以つて終ります。茲に一つ深く御詫びを申し上げなければならぬのは、田代順之先生の「國民學校理數科の實際」が最後の本月號まで逢々その御玉稿が頂けなかつたといふことでございませう。

田代先生が、講習號のこの企てを心から喜んで下され御執筆を御快諾下さいました七月の下旬とは先生の御身邊は誠にへだたりを生じ九月からは東京市の茅場國民學校とその青年學校の校長として活躍をせられてお出でです。

國民學校と言ひ、青年學校と申せ、陸戦體制下の我が國教育行政に於て眞先に改革を斷行せられた一大劃期的な仕事でありまして、その新校長としての御多忙や察するに餘りありでございませう。

併し、豫告に添ひませんでしたこと誠に心苦しき次第でございますので、來る昭和十七年度新年號より國民學校理數科の實際を堀七藏先生に御執筆いただくことに致しました。何卒御期待下さいませ。

〔編輯係り〕